

第2学年〇組 道徳学習指導案

日時 平成28年2月18日木曜日(5限目)
場所 〇 〇
指導者 〇 〇 〇 〇

1 主題名 力強く生きぬく(生命尊重)(内容項目3- (1))

2 資料名 「島袋さんの体験談」

3 主題設定の理由

(1) 生徒の実態

本学級の生徒は、班などの小人数での意見の交換や深め合いは活発に行うことができるが、学級全体の場では自分の意見を発表できない傾向が見られる。これは自分の言動に対して、周りからどのように思われるのかが気になり、消極的になってしまう生徒が多いからである。道徳の時間など、自分の心をさらけ出す発問に対しては、一層しりごみしてしまう生徒が多い。しかし自分の考えをワークシートに記入させると、多くの生徒がしっかりと書き込むことができる。このように生徒一人一人は、発問に対してしっかりと自分の意見を持つことはできている。文化祭以降、少しずつ本音で語る場面が見られるようになってきたので、島袋さんの想いを通して、自分の考えを級友に伝えさせたい。

これまで、修学旅行の事前の調べ学習で沖縄についての学習を進めてきた。調べ学習のまとめとして、各自が調べたことを発表する時間を設けた。そのなかで、生徒からは「学友が目の前で死んでいくなつてつらかったらう」「もう二度と戦争は起こしてはならない」「争うのではなく、話し合いで解決する世の中になってほしい」という声が出てきている。

(2) ねらいとする道徳的価値について

中学生の時期においては比較的健康に生活できる場合が多いため、自己の生命に対する有り難みや、命の尊さについて、日頃真剣に考える機会を決して多いとは言えない。また、命の尊さ、さらには戦争や平和について深く考えることが無くとも生きていくことに支障もない。しかし、実際に数十年前に起きていた戦争を、当時体験された方の想いも含めて知ること、無関心に生きていってはならないことを知る必要がある。島袋さんが語り続けること(戦争は決して繰り返してはならない、死んでいった級友の生きた証し)の根底にある「命は何物にも代えがたい」、「命こそが一番大切である」という想いにも触れさせ、自分の中にある生命尊重の精神を深化させるよう指導にあたりたい。また、「命の尊さ」という精神を支える「級友を想う心」、「感謝の心」や「平和への願い」などにも目を向けさせたい。

(3) 資料について

本資料である「島袋さんの体験談」は、元ひめゆり学徒隊であった島袋淑子さんが当時の体験や、現在の自分の役目(沖縄戦を後世に語り継いでいくこと)について語っておられる資料である。また、島袋さんがインタビューを受け、戦争体験や命の尊さなどを実際に本人が語っておられるCDである。指導にあたっては、読み物資料と生の声を媒体として、島袋さんが語り続ける想い(戦争は決して繰り返してはならない。その根底には、命こそが最も尊いものであるという気持ちがある)を知り、失ってしまったら二度と取り戻すことができないという命の尊さを考えさせたい。あわせて、自分はどうか生きていきたいのかも見つめ直させたい。

4 本時のねらい

【教科目標】沖縄戦の体験を語り続けている島袋さんの想いを知り、命を大切にしようとする態度を養う。

【態度目標】自分の意見を伝え、他者と意見交換をしながら、より深まった自分の考えを持つことができる。

5 評価の観点

- ・自分の考えを伝えることと、他者の考えに対して自分の意見を返し、互いの考えを深め合うことができているか。(道徳的実践意欲と態度)
- ・島袋さんが語り続ける想いを通して、命の大切さについて自分なりの考えを深めることができているか。(道徳的実践意欲と態度)

6 準備

- ・島袋さんが体験談を語っておられるCD
- ・島袋さんの体験談
- ・ワークシート
- ・iPad

7 本時の学習過程

時間のめやす	生徒の学習活動 ○中心発問	※指導上の留意点 ・予想される生徒の様子	形態	評価規準
3分	学習目標提示		一斉	
	島袋淑子さんが語り続ける理由を考え、自分の生き方を見つめ直す。			
つかむ	1. 島袋さんの紹介を聞く。	※1989年、ひめゆり平和祈念資料館の開館以来、30年近くも、毎日語り続けておられることを話す。		
5分 ふかめる	2. 島袋さんの体験談をCDを聴きながら読む。	※島袋さんの体験談を配布する。 ※CDを流す。	一斉	
6分 8分 6分	③. 島袋さんは三十年近く戦争体験を語っておられる。どんな想いがそれを支えているのだろうか。 ・ワークシートに記入する。 ・班内で意見交換をする。 ・班員の意見をホワイトボードにまとめる。 ・全体場で発表する。	※箇条書きで良いことを伝える。 ・戦争は二度と繰り返してはいけない。 ・仲間の生きた証しを伝えなければならない。 ・命こそが一番大切。 ※「命が一番大切」という価値に限らず、それを支える・関連する価値を考えさせる。(責任感や仲間への想い等) ※班内での意見交換の際に、班員の意見に対して、1人ひとりが自分の考えを返すようにすること。	個 班 一斉	・自分の考えを伝え、他者の考えに対して自分の意見を返し、互いの考えを深め合うことができているか。
あたためる	4. 様々な想いを知り、あなたはどうか生きていきたいですか。	※命を大切に生きるとは、どういうことか、どう生きることなのか。		
6分 8分 6分	・ワークシートに記入する。 ・班内で意見交換をする。 ・全体場で発表する。	・戦争を繰り返さないために、自他の命を大切に感じながら生きる。	個 班 一斉	・島袋さんが語り続ける想いを通して、命の大切さについて自分なりの考えを深めることができているか。
2分	5. 教師の話聞く。	・戦争で犠牲になった方のためにも、精一杯生きていく。	一斉	